



夜 恋 文

No. 131

令和3年8月25日発行



2021/06/27

「今年初の行事、
天候に恵まれ
楽しい時間を
過ごしました」



友愛の里から

ピクニック気分で
ランチはいかが？

六月二十七日、友愛の里中庭にて初の試み、「テイクアウト行事」を実施しました。当日はこれから夏が来るぞく！といった気持ちにさせてくれる絶好の屋外日和でした。会場の設営・準備は施設内の自治会・かもめの会役員にも依頼しており、皆さん積極的にお手伝いしてくれました。ピクニックの雰囲気を出そうとフラッグガールランドを行事までの日中活動中に制作しました。単にカラフルな旗

だけではないので洞爺湖町の素敵な景色や名物・洞龍くん・グルメなどをプリントしてカットしたり、貼り付けるなどしてみました。会場の準備をしている様子を



施設内から見ていた利用者さんも陽気に誘われたのか徐々に職員と一緒に中庭に出てきており、用意していた水風船の当て、ゴムボール、シャボン玉などで各々楽しんでいました。今回のテーマであるテイクアウト。町内のKOTTAさんにお弁当を依頼しましたが、事前に厳選した四種類の中からそれぞれ好きなメニューを選択してもらい注文をしました。中庭に配達していただいた後はテーブルに商品名を掲げてお祭り会場に見立てて陳列しました。自らテーブル近くに立ち「いらっしゃいませー」と切り盛りする利用者さん、受け渡しを今かと待っている利用者さんなど会場内が盛り上がってきました。そしてお待ちかねの会食が始まり、流れてくる音楽を聴きながら「好きなもの食べれてうれしい」「ポリウムあるね」などと皆さんそれぞれに普段とは違う雰囲気を楽しんでいたようでした。

当日はジリジリとした日差しが強くなり、熱中症も考慮して、食事を食べ終えたところで閉会しましたが、後日に当初予定していた長い糸電話にもチャレンジしてみました。糸電話のコップはもちろん使い回しが出来ないので作成に時間を要しましたが、一度に複数人で楽しむことが出来る糸電話が特に面白

かったようです。しかし皆さん我先にと話し役に回る！私も久しぶりに糸電話を体験しましたが、普段とは違った感覚で声が聞き取れるので非常に新鮮でした。ソーシャ

ルゲイスタンスを逆手に取つての楽しみを今後も考えていきたいと思えます。二メートル先に新発見があるかもしれませんね！

(支援員 渡辺 千明)

活動場を一新！
テーブルカットも

介護グループは今までグラウンド横にある訓練棟を活動の場とし、歩いて移動していましたが、現在男性入所者十一名、女性入所者十名、通所利用者一名の計二十二名が在籍し

が大変なこともある為、現在は施設内にも活動スペースという場所を新しく作り、介護グループを①グループと②グループに分け、館内の活動スペースを使ってDVD鑑賞などのレクや玉入れ・腕上げなどの軽運動を行う日、館内の男子寮・女子寮でパズルや折り紙などを行う館内活動の日、作業棟まで歩いて移動し、運動器具を使用した活動や清水周辺の散歩を行う日などと曜日によってグループの活動内容を割り当てて活動を行っています。グループ分けやその日によって活動の内容を変えることで利用者さん一人一人とコミュニケーションを図れることも多くなり、個々の状況に合わせた活動を提供しながら体力・身体機能の維持・向上やQOLの向上を目指し、今後も活動を行っていききたいと思います。



ており、利用者個々が高齢化や重度化など状態像の変化により、全員一緒に訓練棟に移動して活動することが難しくなってきました。また、天候が悪い日や冬季期間の移動

活動スペースを初めて使用する日には、利用者さんから「テープカットはしますか？」との質問もあり、一緒に紅白テープを作成、プチセレモニーも行いました。

(支援員 菊地 将平)



かき氷 始めました♪

七月六日、今年初のかき氷を家政班の休憩中に実施しました。訓練棟の清掃活動を行った後にかき氷を作って食べましたが、とても喜ばれていました。「かき氷やったよー」「美味い！」などと笑顔で話されています。今後も各活動班や週末の余暇時間などで楽しんでいきたいと思えます。

(支援員 西本 日出子)



事業所初の行事は 熱々のたこ焼きで!!

五月二十八日、デイセンター憩いの丘にて初めてとなる行事として「たこ焼き」を実施しました。コロナ禍で密などの関係上、行事の実施は難しく、行事内容の模索に苦戦しましたが、利用者の皆様に少しでも楽しんでもらえるような内容を職員一同で考えた結果、「たこ焼き」であれば屋外での実施が可能であり、使用するものが業務用たこ焼き器なので密になることもなく、開始前後の消毒の徹底、こまめな消毒の義務付けをするこ



とで実施に至りました。

デイセンター憩いの丘には高齢者支援班と生産活動班に所属する計二十名の利用者が通所しています。前日からユーモアを交えた行事ポスターを貼り、それを見た利用者も楽しみにしている様子であり、「楽しみ」「たこ焼き食べるの久しぶり」などの声も聞かれていました。また、今回は地域生活者（各グループホーム十件）と友愛の里利用者分のたこ焼きも作り、同様にポスターも配布しました。当日は天候も良く、朝から準備を始め、午前中からたこ焼き行事の開始!!利用者にも焼き方に入ってもらい、たこ焼きの体験を交代でもらいました。串を使用して真剣に丸める利用者、「出来ないね」と大笑いをする利用者、才能を発揮して上手に丸める利用者様々でしたが笑顔が溢れていました。午後には完成したたこ焼きと冷たいジュースも準備し、お楽しみの会食です!!「美味しい」「やつぱり行事楽しいね」「ありがとう」などの声も聞かれており、皆さんの様々な声、笑顔が印象的でした。

今回、コロナ禍で、短縮しての実施と



気持ちと「この仕事をしていて良かった」という気持ちになり、改めて初心の心を忘れてはいけないと再認識しました。

今後もコロナの関係上、行事は時間短縮や内容の濃い催し物は難しいと思いますが、少しでも利用者の方々に楽しんでもらえる行事、また少しでも多くの笑顔が作れる行事を実施していきたいと思えます。

(支援員 佐藤 祥至)

なりました。が、利用者の笑顔、利用者から職員に対して感謝の言葉を聞くと私事ではありませんが、利用者の方々に對して逆に自分が「ありがとう」という感謝の

製。パン班ミニ行事

五月一日、二日の作業終了後にあすなるの食堂でミニ行事を行いました。今回も消毒、手袋を着用して隣同士の間隔も取りコロナ対策は万全です。一日目はピザ作りをしています。ピザ生地は普段自分たちが作っているものを小さいサイズで用意し、薄く伸ばした生地の上にコーン、ベーコン、サラミなどの具を並べてホットプレートで焼いています。皆さんピザを自分で作ることは初めての人が多数でしたが、上手に作っていました。二日目



はアメリカンドッグを作っています。こちらはホットプレートで焼いたミニサイズの生地ソーセージを巻き、ケチャップを乗せて完成です。アメリカンドッグも初めての体験でしたが、皆さん終始



笑顔で楽しそうでした。両日共デザートにアイスクリームが用意され、特別感も感じられました。

ゴールデンウイーク中でしたが、地域で生活している方はコロナ禍の為、帰省が難しい状況

でしたので楽しい時間を過ごせたと思います。今後も状況を見ながらではありますが、可能な限りこのような行事を実施していきたいと思えます。

(支援員 下総 美範)

緑化班

現在、洞爺湖町から委託を受けている国道の花壇や駅前花壇などの夏花への切り替え作業を行っています。国道花壇にはジニア・ピンを植え込み、駅前にはマリーゴールド・シルバードアスト・千日紅を植え込んでいま

す。今年は比較的天候も良く暖かい日差しの中、一人一人が育ててきた花苗を丁寧に植え込んでいます。植え込みが終了した後は、各花壇の雑草抜きや枯葉などの手入れ、天候によっては散水作業を



しつつ花苗の管理を行っていきます。年々利用者の皆さんも高齢化してきており、体調や健康に気を付けながらではありますが、長年携わってきた今までの経験を生かして進めています。日々花壇の植え込みの時や自治会などの配達の場合で、町民の方々に「頑張っているね」「綺麗だね」などとお声を掛けて頂いています。利用者の皆さんも声を掛けて頂いたことで自信にも繋がっており、年々植え込み方や植え込みペースも上がってきています。今後も利用されている方の安全や車両の運転に配慮しながら取り組んでいきます。

(支援員 小林 佳樹)

デイセンタースていぼしから

いちばんぼし食事会を七月十七日土曜日に実施しました。企画前に利用者に何が食べたいか聞くと「お寿司」の声が多くあり、寿司・唐揚げ・さつまいもステック・味噌汁・コーヒーゼリーを準備しました。寿司は、一人十一貫とネタも豪華で好きな物から食べる人や最後に食べる人と様々でした。黙食での会食でしたが美味しさが伝わる表情でした。食事の後は、景品釣り・ボーリング大会を実施しました。景品釣りは、手作りの釣り竿でビニール袋に入った景品を釣り上げます。苦戦しながらも自分の欲しい景品を釣り上げて笑顔で記念写真を撮りました。ボーリング大会は、本格的なボールにピンで気分が上



がりました。景品が並ぶと「あれが欲しい、これが欲しい」と品定めをしています。力を入れすぎたり、ピンではなく職員に当たったりと楽しい時間でした。ピンを多く倒した人から景品を選んでいきます。自分の気に入った景品が無くなるのを心配そうに気にしている方もいました。沢山の景品を貰い嬉しそうに職員に見せ満足している様子が見られました。コロナ禍で外出を控えるなど自粛している中、感染予防をしながらの事業所内での会食、余興でしたが利用者の方には、いい気分転換になったようです。

(支援員 伊藤ひとみ)

《商品紹介》

現在、道の駅あぶたで販売中の「いちばんぼしの仲間が作ったPEPPER BAG (ペーパーバック)」を倶知安町にあるコーヒーショップ『MOUNTAIN KIOSK COFFEE』のオーナーさんに購入して頂き、ギフト用の袋にと6月より店舗で使って頂けることに

なりました。

道の駅あぶたでは、大サイズ三枚と小一枚をセットにして百十円で販売中です。その他、クラフト用紙で作成した野菜保存袋は、冷蔵庫に合わせたサイズで販売中です。にんじん・じゃがいも・ナス・ピーマン・しいたけと可愛いスタンプが押してあります。



令和2年度 社会福祉法人あぶた福祉会事業報告

I 法人運営について

社会福祉法人あぶた福祉会は、社会福祉法及び定款に基づき、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行い、ほぼ当初の事業計画のとおり一年間推移することができた。

第1種社会福祉事業

(1) 障害者支援施設「清水友愛の里」

- ア 施設入所支援 定員 50名
- イ 生活介護 定員 50名
- ウ 短期入所 定員 2名
- エ 日中一時支援

第2種社会福祉事業

(1) 障害福祉サービス事業「デイセンターあすなろ」(多機能型)

- ア 生活介護 定員 15名
- イ 就労継続支援B型 定員 15名

(2) 障害福祉サービス事業「デイセンターいちばんぼし」(多機能型)

- ア 生活介護 定員 12名
- イ 就労継続支援B型 定員 18名

(3) 障害福祉サービス事業「地域サポートセンターふれんど」

- ア 共同生活援助(介護サービス包括型) 定員 58名

(4) 特定相談支援事業「友愛の里相談支援センター」

※「デイセンターいちばんぼし」に併設

(5) 洞爺湖町障害者相談支援事業「友愛の里相談センター」(受託事業)

※「デイセンターいちばんぼし」に併設

(6) 洞爺湖町地域活動支援センター(受託運営)

※「清水友愛の里」に併設

以下省略

II 施設整備について(省略)

III 資金の確保について(省略)

IV 定款の変更について(省略)

V 登記について(省略)

VI 評議員会、理事会及び監査等について(省略)

VII 職員の状況について(省略)

VIII 利用者支援について(省略)

IX 地域社会との関係について(省略)

X 給食、保健衛生について(省略)

以上

※詳しくは当法人ホームページをご覧ください。(http://www.abutafukusikai.or.jp/)

社会福祉法人 あぶた福祉会

令和2年度 決算計算書類 (社会福祉事業)

資金収支計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位：円)

勘定科目		決算
事業活動による収支	収入	
	就労支援事業収入	34,806,755
	障害福祉サービス等収入	442,782,808
	経常経費寄附金収入	1,516,000
	受取利息配当金収入	7,509
	その他の収入	6,794,759
事業活動収入計	485,907,831	
支出	人件費支出	261,400,722
	事業費支出	55,657,861
	事務費支出	77,886,269
	就労支援事業支出	34,246,547
	支払利息支出	761,584
	その他の支出	2,161,939
事業活動支出計	432,114,922	
事業活動資金収支差額	53,792,909	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	5,500,000
	施設整備等収入計	5,500,000
	支出	
	設備借入金元金償還支出	6,441,949
	固定資産取得支出	446,038,292
リース債務の返済支出	998,800	
施設整備等支出計	453,479,041	
施設整備等資金収支差額	△ 447,979,041	
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	438,453,350
	その他の活動収入計	438,453,350
	支出	
	積立資産支出	36,485,775
	その他の活動支出計	36,485,775
その他の活動資金収支差額	401,967,575	
当期資金収支差額合計	7,781,443	
前期末支払資金残高	273,894,452	
当期末支払資金残高	281,675,895	

事業活動計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位：円)

勘定科目		決算
サービス活動増減の部	収益	
	就労支援事業収益	34,806,755
	障害福祉サービス等収益	442,782,808
	経常経費寄附金収益	1,516,000
	その他の収益	74,950
	サービス活動収益計	479,180,513
費用	人件費	263,564,147
	事業費	55,657,861
	事務費	77,886,269
	就労支援事業費用	36,390,388
	減価償却費	71,202,077
	国庫等特別積立金取崩額	△ 13,116,780
サービス活動費用計	491,583,962	
サービス活動増減差額	△ 12,403,449	
サービス活動外増減の部	収益	
	受取利息配当金収益	7,509
	その他サービス活動外収益	6,719,809
	サービス活動外収益計	6,727,318
	費用	
	支払利息	761,584
その他サービス活動外費用	2,161,939	
サービス活動外費用計	2,923,523	
サービス活動外増減差額	3,803,795	
経常増減差額	△ 8,599,654	
特別増減の部	収益	
	施設整備等補助金収益	5,500,000
	特別収益計	5,500,000
	費用	
	固定資産売却損・処分損	3
	国庫補助金等積立金積立額	5,836,160
特別費用計	5,836,163	
特別増減差額	△ 336,163	
当期活動増減差額	△ 8,935,817	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	514,015,692
	当期末繰越活動増減差額	505,079,875
	その他の積立金取崩額	436,531,000
	その他の積立金積立額	31,500,000
	次期繰越活動増減差額	910,110,875

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	329,365,405	流動負債	65,153,906
現金預金	239,813,775	事業未払金	13,438,767
事業未収金	69,023,235	その他の未払金	16,026,713
未収金	8,016,447	1年以内返済設備借入金	5,454,276
未収補助金	5,500,000	1年以内返済予定リース債務	998,800
未収収益	2,723,111	未払費用	17,673,171
原材料	288,680	預り金	4,731
立替金	2,489,133	職員預り金	257,448
前払費用	643,224	賞与引当金	11,300,000
仮払金	867,800		
固定資産	1,289,434,427	固定負債	107,886,579
基本財産	872,762,878	設備資金借入金	59,792,024
土地	134,759,960	リース債務	2,746,700
建物	738,002,918	退職給付引当金	45,347,855
その他の固定資産	416,671,549	負債の部合計	173,040,485
		純資産の部	
土地	2,400,000	基本金	194,532,425
建物	22,430,836	国庫補助金等特別積立金	29,905,047
構築物	994,396	その他の積立金	311,211,000
機械及び装置	1,327,466	人件費積立金	100,000,000
車輛運搬具	12,348,605	施設整備等積立金	211,211,000
器具及び備品	16,865,891	次期繰越活動増減差額	910,110,875
無形リース資産	3,745,500	うち当期活動増減差額	△ 8,935,817
退職給付引当資産	45,347,855	純資産の合計	1,445,759,347
人件費積立資産	100,000,000		
施設整備等積立資産	211,211,000		
資産の部合計	1,618,799,832	負債及び純資産の部合計	1,618,799,832

評議員・役員の選任について

* 令和三年六月十四日、評議員選任・解任委員会が開催され、任期満了に伴う評議員を次のとおり選任しました。

評議員	赤川 龍麿 (再任)
評議員	毛利 納 (再任)
評議員	伊藤 賢二 (再任)
評議員	綱嶋 勉 (再任)
評議員	吉田 聡 (再任)
評議員	増山 顕佑 (再任)
評議員	増山 顕佑 (再任)
評議員	泰地 ひとみ (新任)

任期は、令和三年六月二十一日開催の定時評議員会の終結の時から令和七年度定時評議員会の終結の時までです。

* 令和三年六月二十一日、定時評議員会が開催され、任期満了に伴う理事及び監事を選任しました。また、同日、理事会が開催され、理事長及び常務理事(業務執行理事)の選定を行いました。

理事長	夏目 與市 (再任)
理事	村上 僚男 (再任)
理事	加賀谷 真由美 (再任)
理事	八反田 稔 (新任)
常務理事	上 埜 二郎 (再任)
	さぼーとステーション
	ゆうあい施設長
理事	木村 芳秀 (再任)
	清水友愛の里施設長
監事	高橋 昭夫 (再任)
監事	八木橋 隆 (再任)

任期は、令和三年六月二十一日開催の定時評議員会の終結の時から令和五年度定時評議員会の終結の時までです。

なお、安住八重子さんにつきましては、今期限りで評議員を退任されました。定年退職後、法人の理事、そして評議員として長きにわたり、ご尽力下さいましたこと、厚く感謝申し上げます。

新利用者紹介

白井 勝也さん

令和三年七月五日から清水友愛の里に入所となっております。今までも清水友愛の里に通所して介護グループの活動に参加しており、シヨートステイも何度も経験しているのですぐに慣れて生活できています。



新職員紹介

菊地 仁志

(さぽーとステーションゆうあい
看護師)
令和三年七月一日付

七月一日から清水友愛の里(デイ
センター憩いの丘)では看護師兼支
援員として、またデイセンターいち
ばんぼし・デイセンターあすなろで
は看護師(兼務)として働くことにな
りました。

これまで精神科・老人福祉施設で
働いてきた経験を生かして利用者さ
んに安心・安全に過ごしていただい
けるようケア・サポートしていきたい
と思います。これから宜しくお願
いいたします。

水戸 義昭

(デイセンターあすなろ支援員)
令和三年五月一日付

五月一日よりデイセンターあすな
ろの緑化事業所で支援員として働か
せて頂いております。

社会福祉の仕事は初めてですが、
利用者の皆さんと楽しく仕事に取り
組んでいきたいと思っておりますので、宜
しくお願ひします。

友愛フェスティバル 中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症防止の
為、今年度も友愛フェスティバルにお
きましては、中止とさせて頂きます。
保護者の皆様、または、関係者の皆様
におかれましては、ご理解のほどよろ
しくお願ひ致します。

御寄付・御寄贈品

令和三年五月から六月まで

六月度

◆寄付物品◆

洞爺ライオンズクラブ様 洞爺湖町

安住 八重子様 洞爺湖町

川勝 純治様 室蘭市

小貫 静子様 札幌市

◆寄付金◆

洞爺ライオンズクラブ様 洞爺湖町

あぶた福祉会家族の会様 洞爺湖町

善意のご寄付

ありがとうございました

二〇二〇年度社会福祉法人清水基金・社会福祉法人助成事業の完了について

この度、社会福祉法人清水基金様による社会福祉法人助成事業が完了しましたのでお知らせいたします。

現在五十二名の方が共同生活住居（グループホーム）で生活しているところですが、近年、高齢者支援が重要な課題となっております。平成二十二年度に重度・高齢者対応型共同生活住居、令和元年度（法人の中長期計画第一期）で共同生活住居三棟を整備し対応しているところでもあります。

最近では、これまで一般就労の方が定年又は就労支援事業所を利用した人も生活介護事業所への利用へと変更になるなど、加齢に伴う身体機能の低下等重度化が顕著であります。共同生活住居又は施設において、手摺などを設置した介助浴室では対応できず、機械浴槽（専用の車椅子に座ったまま入浴できる特殊浴槽）を必要とし、整備したものであります。今後も快適な生活環境への改善と充実を図ってまいります。

社会福祉法人清水基金様に謹んで感謝の意を表します。

事業名 機械浴槽の購入

整備内容 機械浴槽本体 一台

（酒井医療㈱製ライラックプラスLA・560R）

入浴用車椅子 一台

（酒井医療㈱製チルト&リクライニング式BWC・160）

設置場所 さぼーとステーション

ゆうあい特別浴室

総事業費 8,217千円

助成金額 5,500千円

事業完了日 令和三年四月二日

（写真は裏表紙参照）





【特殊浴槽写真】

編集後記

今年の冬が非常に寒かったこともあってか、七月に入ってからには特に暑い日が続いていますね。数年前から北海道では珍しいとされていた回遊魚も当たり前のように漁港で釣れているようですが、魚種交代も納得！と思ってしまう最近です。施設内も暑く、水分補給やクーリング、換気などで熱中症対策を強化して行っております。畑で栽培している野菜も徐々に収穫まで至っており、浅漬けなどにして食べていますが、塩分やミネラルが体に染みる暑さですね。

新型コロナウイルスワクチンの接種は六月から各事業所の利用者、職員ともに順次実施しており、八月で二回目の接種が終了する予定です。大きな副作用もなく一安心しております。今後も感染者が出ないよう、蔓延防止に取り組

んでまいります。

オリンピックの開会式など、テレビを見ていっている中で今までの当たり前が覆った状態が定着してきており、常識やマナーが変わりつつあるのだなと実感しております。それらが支援についても影響を受けている場面は多くあります。新しいことの導入、古いことの廃止なども日々ありますが、一つ一つに疑問を持ちながら最善を選択し、利用者の生活・日中活動に生かしていきたいと思っております。

さて、これから訪れる夏の終わりにには小規模ながらも施設内での花火大会を予定しています。次回の機関誌で夜空を彩る花火の写真、利用者の方々の笑顔が掲載出来たらと思っております。お楽しみに。

(W・C)